

日々の暮らしの“安全”を

下支え 非破壊検査のリーディングカンパニー



株式会社 ダンテック

取締役副社長
河田 松夫 氏

1948(昭和23)年生まれ、岡山県出身。学卒後すぐに同社へ入社。国内外で技術員・スーパーバイザーとして現場を経験。その後、営業管理を経て49歳で取締役、59歳で常務取締役就任。入社して半世紀を超えてなお、第一線で現場を指揮し続けている。

- ▶ 所在地 大阪府大阪市北区天満4-14-13
- ▶ 設立 1963(昭和38)年8月
- ▶ 従業員数 163名
- ▶ 売上高 31億4,178万円[2025(令和7)年7月期](前年度30億442万円)
- ▶ 事業内容 放射線、超音波等による非破壊検査全般
- ▶ U R L <https://www.dantec.co.jp/>

企業公式サイト



— “安全”を支える高い技術 非破壊検査のプロ集団

当社は“非破壊検査”と呼ばれる、物を壊さずに表面や内部の傷、あるいは劣化状況を調べる総合検査会社です。“非破壊検査”と聞いてあまり馴染みが無いと思いますが、製品や構造物の品質管理や安全性確保のためにも欠かせない技術であり、たとえば商業施設や高速道路、発電所や精密機械など、あらゆる分野で非破壊検査が行われています。

当社は1963(昭和38)年の創業以来、長きに渡り業界を牽引し続けてきましたが、その原動力はなんといっても圧倒的な技術力にあります。非破壊検査は社会の安全・安心を支える重要な役割を担っています。そのため、確かなスキルと知識が求められるのはもちろんのこと、あらゆる建造物に対応できる経験と感性が求められる仕事です。そこで当社では、創業以来スタッフのレベルアップに特に注力してきました。一例を挙げると、社内に教育管理部という専門部署を設けてスタッフの学びを全力でサポートするほか、国家資格や各種資格取得のための試験対策、また、教育講習では新技術へのいち早い対応も行っています。こうした施策の甲斐もあり、当社ではスタッフ一人ひとりが高いレベルの検査技術を有しており、羽田空港D滑走路や東京スカイツリーの検査の一部を担当したほか、阪神・淡路大震災や東日本大震災時の復興事業にも参加するなど、各方面から当社の技術力を高く評価頂いています。このように、どこにも負けない技術力こそが、当社の大きな強みとなっているのです。

— 50年ぶりに新事業参画へ 次世代エネルギーの発展に貢献

当社はこれまで無理に会社の規模を上げようとはせず、堅実経営の方針としてきました。しかし、この度約50年ぶりに新事業へ参画することとなりました。

きっかけは当社のクライアントさまが、洋上風力発電の風車を海底に固定する「モノパイル」と呼ばれる巨大な鋼管杭を量産する国内初の工場を竣工したことでした。当社はモノパイルの非破壊検査を担当することとなり、新たに拠点も立ち上げました。

元々非破壊検査は、製品を壊さずに内部の欠陥や状態を評価できるため、SDGs達成に貢献できる技術として注目されていますが、洋上風力発電もまたその目的達成に向けて脚光を浴びている分野です。そこで、当社が洋上風力発電設備の検査を行う会社として事業に参画することは、環境問題解決の実現に向け大きな意義があると考えており、売り上げのベースアップはもちろんのこと、業界の代表として更なる社会的責任を果たすことができると、大きな期待を寄せています。

— 構造を知る好奇心が仕事に ゼロから始める技術職

“非破壊検査”というと、聞き慣れない仕事ゆえに難しそうなおイメージを持たれがちです。しかし、当社では経験よりもその人の個性を重視しています。実際、現在活躍しているスタッフのほとんどは未経験からのスタートで、中には全く異なる分野を学んできた方もいます。それでも、今では一人ひとりが当社を支える頼もしい戦力として、それぞれの持ち場で力を発揮しています。というわけで、難しく構える必要はまったくありません！機械いじりが好きな方や、物の構造や仕組みを知りたい好奇心のある人であれば、きっとこの仕事を好きになって頂けるのではないのでしょうか。建造物がある限り私たちの仕事なくなることはありません。そして、非破壊検査サービスがあるからこそ日々の暮らしに無くてはならない機械や設備の安全が保障されています。一見すると目に見えない地味な仕事かもしれませんが、人々の暮らしを守るこの仕事に誇りをもっています。このインタビューを通じて“非破壊検査”に興味・関心を持って頂ける人が一人でも増えたら嬉しく思います。

